

今年で3年目!! 地域づくりアクション発表会R3 (後編)

広報奥出雲3月号に引き続き、2月7日にカルチャープラザ仁多で開催した「今年で3年目!! 地域づくりアクション発表会R3」で発表された小さな拠点づくりに取り組む地区のR2年度の取り組みとR3年度以降の取り組みの一部をご紹介します。

<馬木地区>

[R2年度の取り組み]

- ・地区の賑わいを創出するため、横田高校生も参加して、地元野菜や果物、手作り惣菜を販売する「あおぞら市」を大馬木と小馬木で毎月1回開催。
- ・集いの場づくりのため、週4回「喫茶サロン」を開催し、地域の皆さんが製作した小物などを販売。また保健師による健康相談・血圧測定の実施や健康サロンも開催。



「あおぞら市」の様子

[R3年度以降の取り組み]

地区の賑わい創出、集いの場づくりのため「あおぞら市」と「喫茶サロン」を継続して開催していく。地区の皆さんの得意なこと等を活かして「馬木お助け隊」を結成し、高齢者等の生活支援を行っていききたい。

<亀高地区>

[R2年度の取り組み]

- ・令和3年4月から除草や除雪作業等を行う「かめさんお助け隊」を結成するため、利用者と協力者を募集し、お試しで除雪作業を実施。年末の大雪の際に、除雪を計7回行った。
- ・急病やケガで救急車を呼んだ時に、救急隊に対して持病や緊急連絡先を伝える医療用キットを全戸配布した。



「かめさんお助け隊」による除雪作業の様子

[R3年度以降の取り組み]

令和3年4月から困りごとをお助けする「かめさんお助け隊」を本格的に実践していききたい。

<八川地区>

[R2年度の取り組み]

- ・常会ごとに災害時の緊急連絡網を整備。世帯全員の情報や緊急連絡先が記載された「くらし安心カード」を作成し、全戸に非常持出袋を配布。
- ・多世代交流として、八川小学校の大銀杏の銀杏を老人会と婦人会で拾い、子育てグループが袋詰めをして、小学校行事で販売。売り上げは小学校へ寄附を行った。
- ・高齢者の集いの場として「お茶のみ会(サロン)」を開催。



「お茶飲み会(サロン)」の様子

[R3年度以降の取り組み]

高齢者の困りごとを聞き、住民同士が助け合う生活支援体制を整えていききたい。獣害対策として、イノシシなどを捕獲し、食肉として加工・販売することを他地区と連携して検討していく。

景山寛樹選手 第58回全日本スキー技術選手権大会 出場 景山和葉選手 JOCジュニアオリンピックカップ2021 全日本ジュニアスキー選手権大会 出場

3月5日から7日にかけて新潟県で開催された第58回全日本スキー技術選手権大会に景山寛樹選手が出場されました。同大会は、設定された斜面に対して、どれほど美しく・速く・ダイナミックに滑るかを競うものです。強豪選手との戦いを終えた景山選手は、「レベルの高い大会でしたが、精一杯の滑りをしました。これまで数十回出ている大会なので、これからも出場できるよう練習に励みます」と感想を述べられました。



景山寛樹選手 景山和葉選手

3月25日から29日にかけて北海道で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ2021全日本ジュニアスキー選手権大会に景山和葉選手が出場されました。景山選手は、アルペン女子スラロームとジャイアントスラロームの2種目に出場され、「自分の技術が足りず、全国の厳しさを知りました。さらに練習をして、全国に通用する滑りを目指します」と今後の意気込みを述べられました。

アルペン…旗門を通過しながら斜面をいかに速く滑り降りるかを競う競技。スラローム(回転)…アルペン種目の中でも最も旗門の間隔が狭い種目で、素早く正確なターンが要求される種目。ジャイアントスラローム(大回転)…スラロームよりも旗門の間隔が広く、ロングターンがベースとなりスピードを落とさず滑ることが要求される種目。

奥出雲町地域学習拠点施設が開所しました

奥出雲町地域学習拠点施設が横田高校の紫雲寮隣に完成し、勝田町長をはじめ、横田高校の黒田校長や生徒代表が出席し、3月23日に開所式が行われました。

施設内には、多目的ホールや研修室、宿泊室が備えられ、地域の課題解決のために、横田高校生が町内外者と協働して学習や交流を行える滞在機能を持った地域学習活動拠点として建設されました。

町長から、「横田高校では、地域と連携して行う課題研究を通して、町に関わってくれる人材育成や高校の魅力化を進めていただいています。今後は、この施設を研究の拠点として有効的に活用してください。」と話されました。

また、生徒代表は、「この地域でしか関われない人と話をしたり交流したりする場になりたい」と笑顔で話しました。



奥出雲町地域学習拠点施設の玄関



多目的ホール

島根リハビリテーション学院卒業式

島根リハビリテーション学院卒業式が、3月10日にカルチャープラザ仁多で行われました。令和2年度に卒業する理学療法学科27名と作業療法学科7名は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、リモートで授業を受講するなど、通常の学習が行えず、不安を抱えながら残り1年の学生生活を送りました。

卒業生代表の橋田真希さんは「目の前にいる人のために全力を尽くせる療法士を目指します」と述べました。

感謝のこぼれを述べる橋田真希さん▶



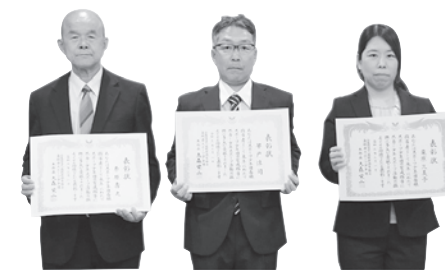
令和2年度島根県スポーツ少年団顕彰授与式

令和2年度島根県スポーツ少年団顕彰授与式が、3月29日に役場横田庁舎で行われました。この顕彰は、永年にもわたりスポーツ少年団の育成・指導に貢献し、顕著な功績のある指導者を表彰するものであり、この度、町から4名の方が受賞されました。

受賞者を代表して、阿井地区剣道振興会スポーツ少年団の指導者である栗原久美子さんから「私を育ててくれたスポーツ少年団に、指導者として携わることができ、嬉しく思います。これからも指導者としてだけでなく、選手としても切磋琢磨していきます。」と述べられました。

<受賞者>

- 糸原壽之さん(横田空手道スポーツ少年団) 指導歴20年
- 早戸淳司さん(仁多地域ホッケースポーツ少年団) 指導歴18年
- 景山 保さん(三沢剣道スポーツ少年団) 指導歴24年
- 栗原久美子さん(阿井地区剣道振興会スポーツ少年団) 指導歴20年



(左から)糸原さん、早戸さん、栗原さん

第70回記念四県四郡市総合体育大会功労者表彰 授与式

第70回記念四県四郡市総合体育大会功労者表彰は、選手・監督・競技役員等の経歴を20年以上持つ方を対象とし、各郡市が表彰候補者を推薦しました。その結果、仁多郡から10名の表彰者が決定し、3月24日に役場横田庁舎にて授与式が行われました。表彰者を代表して石田恭二さんは、「個人の賞だけれど、関係者の方々の協力があり、受賞できた。これからも四県四郡市総合体育大会に貢献していきたい」と感想を述べられました。

<表彰者>

- 石田恭二さん(陸上競技)
- 若槻 満さん(剣道)
- 糸原富士子さん(剣道)
- 矢壁 啓さん(卓球)
- 糸原富士美さん(ゲートボール)
- 松浦義樹さん(ソフトテニス)
- 松崎邦之さん(剣道)
- 米田篤史さん(バレーボール)
- 土居光則さん(ゲートボール)
- 加藤善章さん(グラウンド・ゴルフ)



表彰式に出席した(左から)石田さん、糸原富士子さん、土居さん、糸原富士美さん、加藤さん